

第29回関西生殖発生毒性フォーラム案内(1)

第29回関西生殖発生毒性フォーラムを下記の要領で開催致します。今回は「母動物への作用に起因する胎児への2次的影響」を中心に企画しました。興味ある内容になると思いますので、是非ご参加下さい。また、同施設、同企業の方にもお知らせいただければ幸いです。

日時： 2012年4月21日(土) 13時～17時(受付：12時30分～)

なお、事前登録は不要ですので、会場に直接お越し下さい。

会場： 武田薬品工業(株)大阪工場 体育館2階ホール

大阪市淀川区十三本町二丁目17番85号 [Tel：06-6300-6118]

最寄駅：阪急「十三」駅下車、徒歩5分

会費： 1000円

プログラム

1. 教育講演

「胎生期低栄養環境と肥満発症リスク」

伊東 宏晃 先生(浜松医科大学)

2. 話題提供

(1) 「Kbl:NZW 及び Kbl:JW の妊娠ウサギに及ぼす制限給餌の影響」

(株)ボゾリサーチセンター 溝口 靖基

(2) 「経口糖尿病薬グリベンクラミド(SU剤)の血糖降下作用と催奇形性作用(仮題)」

宮本 政樹

(3) 「マウスにおける妊娠期の拘束ストレスが胎児の底・外後頭骨の骨化に及ぼす影響」

武田薬品工業(株) 松本 清

3. 一般演題

(1) 「PPAR δ 選択的アゴニスト投与によるラット胎盤形成への影響」

(2) 「ゼブラフィッシュ胚を用いたレチノイン酸、バルプロ酸ナトリウム及びベラパミルの催奇形性評価」

(3) 「バルプロ酸とその類縁体を用いた神経管閉鎖異常のメカニズム探索(仮題)」

気軽な服装でご参加下さい。なおフォーラム終了後、2時間程度の懇親会を予定しております。

